

基本目標4 明るい長寿社会づくり

令和3年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果																				
1 高齢者の生きがいと健康づくりの推進																						
(1) アクティブシニア（意欲的に活動する高齢者）の社会参加の促進と生きがいづくり																						
① 高齢者のスポーツ・文化活動の推進																						
ア. 沖縄ねりんピックの開催	・「第12回沖縄ねりんピック」を開催し、高齢者の生きがい・健康づくり等の促進と参加者相互の交流を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、総合開会式の中止また、一部競技を順延及び中止した。 ・一部開催競技の上位入賞者(チーム)は、次年度開催の「全国健康福祉祭」への派遣選考の対象とし、開催中止となった競技については主管団体からの推薦とする。 ■種目等／期日 ・ゲートボール／11月14日 ・還暦軟式野球／12月4日・5日・11日・12日 ・ペタンク／12月18日 ・グラウンド・ゴルフ／12月18日 ・ソフトバレーボール／12月19日 ■会場 奥武山運動公園他 7会場 ※開催中止種目等 ・ソフトテニス、ソフトボール、マラソン、サッカー、弓道、剣道、ダンススポーツ、水泳、ラージボール卓球、テニス、ボウリング、囲碁、将棋 ・総合開会式 ■参加者 1,809人(前回比: +75人)	・選手、競技団体関係者、後援団体の協力を得て、一部競技の交流大会を開催し、高齢者によるスポーツ・文化活動等の取組みに向けた機運を高め、生きがい及び健康づくりの推進を図ることができた。																				
イ. かりゆし美術展の開催	・「第12回沖縄ねりんピック かりゆし美術展」を開催し、高齢者の生きがいづくり、芸術文化活動の促進等を図った。 【作品展示】 期 日 1月27日～30日 ※4日間 6部門(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真) 出品数 197点 (前回比:-62点) 会 場 県立博物館・美術館 来館者 1,076人 (前回比:-1,930人) 【かりゆし美術展審査会】 審査員 12人 <table><tr><th colspan="2">◆受賞者点数</th></tr><tr><th>賞 名</th><th>点 数</th></tr><tr><td>沖縄県知事賞</td><td>1</td></tr><tr><td>金賞</td><td>4</td></tr><tr><td>銀賞</td><td>8</td></tr><tr><td>銅賞</td><td>14</td></tr><tr><td>かりゆし賞</td><td>6</td></tr><tr><td>奨励賞</td><td>18</td></tr><tr><td>特別賞</td><td>1</td></tr><tr><td>合 計</td><td>52</td></tr></table> ※無鑑査 1点 県知事賞を複数回受賞した者に称号される。 (第3回、第10回) 受賞	◆受賞者点数		賞 名	点 数	沖縄県知事賞	1	金賞	4	銀賞	8	銅賞	14	かりゆし賞	6	奨励賞	18	特別賞	1	合 計	52	・6部門(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)197作品を展示することにより、高齢者の生きがいづくり、芸術文化活動の促進等を図った。
◆受賞者点数																						
賞 名	点 数																					
沖縄県知事賞	1																					
金賞	4																					
銀賞	8																					
銅賞	14																					
かりゆし賞	6																					
奨励賞	18																					
特別賞	1																					
合 計	52																					

令和3年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
ウ. 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣	・「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」への本県の選手派遣は、新型コロナウイルスの影響により派遣を中止し、美術展の出品のみとしていたが、全国大会自体が中止となった。 ・全国健康福祉祭ぎふ大会へ出展予定だった美術作品を、「第12回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展」で「特別展示」として披露するとともに、全国健康福祉祭の周知広報を行った(10作品)。 ・来年度の派遣に向けた競技団体への意向調査等、調整を進めた。回答数:17/18団体(回答率94.9%) *新型コロナウイルス感染症の影響により中止 「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」	・「第12回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展」にて全国健康福祉祭関連作品を展示することで、全国健康福祉祭の周知を図ることができた。 ・来年度の派遣に向けた競技団体の意向調査を通して、コロナ禍での課題等を整理し、対応策の検討につなげることができた。
エ. ニューススポーツによる健康づくりの推進	・関係団体等を通してニューススポーツ用具(スカットボール・ディスゲッター等、32種類)の無料貸し出しを行い高齢者の健康保持及び生きがいづくりを図った。今年度は、新型コロナウイルスの影響で5月下旬～9月の間、緊急事態宣言期間中のセンター閉館に伴い、地域活動等が制限され貸出中止となったが、地域活動の微増により前年比では増加した。 (ディスゲッター等、24種類) 34団体、延べ72件(5/24～9月末貸出停止) ※前年比+11団体 +13件 ・離島地区に在住する高齢者の健康保持及び生きがいづくり等を目的にニューススポーツ用具の常時、無料貸し出しを行っているが、本島同様に地域活動等が制限され貸出件数が減少した。しかし一部では微増している社協もあった。 宮古島市社協:ボッチャ等、5種 8団体、延べ10件 ※前年比+4団体 +5件 石垣市社協:ディスゲッター等、4種 5団体、延べ7件 ※前年比-2団体 -10件	・老人クラブや自治会等へニューススポーツ用具を貸し出すことで、地域での交流や高齢者の健康保持・増進及び地域での交流等が図られた。

令和3年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
② アクティブシニアの養成		
ア. かりゆし長寿大学校運営事業の実施	・新型コロナウイルスの影響により「かりゆし長寿大学校」の2年連続の年間休校が決まった。年間休校を踏まえ、今回はオンラインでの特別講義を実施した。 1. オンライン講義題、視聴者数 第1回「琉球のウイルス感染症と医療の歴史」 視聴者 121人 第2回「健康長寿の秘訣は笑いにあり」 視聴者 95人 第3回「コロナ禍に負けない健康づくり」 「コロナ禍でのおうちごはん」 視聴者 101人 第4回「沖縄の世界文化遺産について」 視聴者 69人 2. 受講者内容等 ・第1回～4回オンライン合計人数：386人 内自立型235人 集合型：37人 国頭村：53人 大宜味村：16人 東村：32人 一般公募：13人 (第4回のみ) ・オンライン視聴操作の簡易スマホ教室 受講者37人 ・沖縄県かりゆし長寿大学校運営委員会 「かりゆし長寿大学校」の次年度開校に向けて、県主管課との協議及び運営委員会において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、学生数、講義時間短縮に加えカリキュラム編成を午前中に特化した。(昼食時、感染リスク軽減の為) ・入学予定者への入学アンケートの実施 1回目6月 2回目1月 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、新入生オリエンテーションは開催せず、資料を送付した。	・特別講義(計4回のオンライン)を通して、今年度入学予定者とのつながりを保ち、次年度大学校で学ぶことへの意欲を高めることができた。 ・オンライン講義を行うことにより高齢者の機材操作に対する苦手意識の緩和につながった。また、スマホ教室実施も高齢者のサポートにつながった。 ・北部地区3村合同でオンライン講義を行うことにより過疎地の高齢者の生きがいと健康づくりの支援につながることができた。 ・運営委員会において、学生数、講義時間及びカリキュラム編成等の審議をもとに、「かりゆし長寿大学校」の次年度開校につなげることができた。
イ. シニア活動実践セミナーの開催	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 「シニア活動実践セミナー」	
③ 高齢者の社会参加の促進のための市町村社協や関係機関・団体との連携強化		
ア. 地域活動推進事業の実施	・市町村社協や関係団体と連携して、かりゆし長寿大学校卒業生を対象に「地域活動交流会」を開催し、市町村社協等との連携を行い、地域活動等への参加促進を図った。 第1回 那覇市地区 参加者 40人 ・北部地区特別講座は、国頭村、大宜味村、東村の社会福祉協議会と連携し、三村の高齢者対象に「かりゆし長寿大学校第3回オンライン特別講義」を配信し開催した。 参加者:国頭村53人、大宜味村16人、東村32人 合計101人 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 「第2回 地域活動交流会 那覇市地区」	・高齢者の社会参加の促進に向けて市町村社協と連携強化を図ることができた。 ・「地域活動交流会」においては、活動事例の紹介により実践的な状況を知ると共に、スムーズなボランティアマッチングが行われるなど、参加者の意識の高揚が図られた。 ・北部地区特別講座では、過疎地の高齢者へのオンラインを活用した学習機会の提供と、これによる交流及び生きがいづくりと健康づくりの増進が図られた。

令和3年度事業計画	実施事業の概要	具体的成果
2 高齢者の就労支援		
(1) 高齢者無料職業紹介事業の実施		
① 高齢者無料職業紹介事業を通じた就労支援		
ア. 求人事業所と求職者とのマッチングによる職業紹介の充実	・求職者や求人事業所へ来所相談や電話等による相談を実施し、高齢者の就職活動の支援を行った。 ・求人情報を求職者に提供し、リクエストを受けるなどマッチングを行った。 - 求職登録者 306人 (R2 158人、R3 148人) ・求職者へ求人情報誌を送付した。 ・グッジョブセンターおきなわにおいて企業説明会を開催し、マッチングの機会の拡充を図った。 - 企業数3社 参加者14人 *新型コロナウイルスの影響で高齢者向けの求人件数が減少している。	・企業等訪問や説明会を実施し求人を確保するとともに、求職者に求人情報を提供し、求職者の就労を促進につなげるができた。 ・求職者の要望に合わせて、電話等で求人情報を提供するなど、就労あっせんを図ることができた。
イ. 関連団体との連携、情報共有による就業機会の効率化の拡大		
・ハローワーク、グッジョブセンターおきなわ、他就労支援団体等と情報交換を行っている。 [グッジョブセンターおきなわ出張相談] 派遣回数10回 相談件数56件 (前年度比: -48件) ※新型コロナウイルスの影響により計画どおり職員を派遣できなかった。		

〈高齢者無料職業紹介事業 実績〉

年度	求人 (人)	求職者 (人)	紹介件数 (件)	就職件数 (件)	就職率(%) B/A×100	企業訪問 (件)	相談件数 (件)	登録企業数 (社)
R3	172 (-140)	162 (+5)	68 (-29)	16 (-5)	9.88%	4 (-20)	1,152 (307)	69 (4)
R2	312 (-284)	157 (-3)	97 (+25)	21 (-17)	13.38%	24 (±0)	845 (+23)	65 (±0)
R1	596 (-11)	160 (+11)	69 (-27)	38 (-20)	23.75%	24 (+5)	822 (±0)	65 (+3)